

浸水ハザードマップのご案内

あなたの住む地域で
大規模な水害が発生したら・・・



※1 昭和51年9月洪水の浸水状況（戸塚区舞岡町）



平成16年台風22号による水害（横浜駅西口）

このご案内が届いたら

- ① **浸水ハザードマップ**でご自宅の場所等を確認しましょう。
- ② 浸水ハザードマップを見て、同封している「**マイ・タイムライン**」を作成しましょう

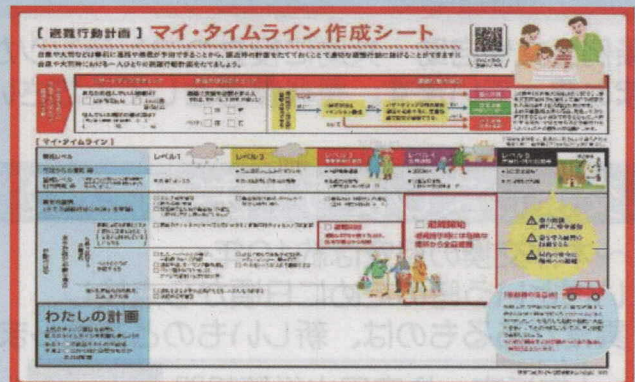
マイ・タイムライン（避難行動計画）とは？

マイ・タイムラインとは、風水害時における自分自身の避難行動計画のことです。

台風などは事前に進路や規模が予測できることから、接近時の計画を事前に立ておくことで適切な避難行動につなげることができます。

一人ひとりの避難行動計画である**マイ・タイムライン**を作成しましょう。

市ホームページからダウンロードまたは各区役所でも配布しています。マイ・タイムライン作成方法は動画でご紹介しています。ぜひ、ご活用ください。



※図はイメージです。



防災トピックス（横浜市からのお知らせ）

防災アプリ「横浜市避難ナビ」の公開！！

災害への備えや避難に役立つアプリ「横浜市避難ナビ」を制作しました。

スマートフォン上でARによる浸水疑似体験やハザードマップの確認、「マイ・タイムライン」の作成が可能です。

災害時にはマイ・タイムラインと連動した避難情報がプッシュ通知されます。

是非ダウンロードして事前の備えを進めましょう。

横浜市避難ナビ



ダウンロード無料！！



横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例の改正

平成25年に制定された「横浜市災害時における自助及び共助の推進に関する条例」が、東日本大震災の教訓を風化させることなく、また近年の気候変動などの変化に即した条例とし、自助・共助の取組をより一層推進するため、このたび改正されました。

改正項目	改正点
「町の防災組織」の定義	マンションによる防災活動が進んでいるため、自治会・町内会に加え、マンション管理組合を明記
「風水害」も想定した対策の充実	「地震への備え」だけでなく、「風水害への備え」として、「マイ・タイムライン」の作成など、安全を確保するために必要な事項を行うことを明記
自主避難の強化	避難指示等が出される前であっても、自身で避難すべきと判断したときは、速やかに、自主的に避難することを明確化
事業者による対策の充実	事業活動を継続するための計画を作成することを例示等
地域防災拠点における配慮事項等	避難者の人権の尊重及び感染症等の対策を行うことを明記

条例全文や自助・共助に役立つコンテンツがまとまっています。是非参考としてください。

横浜市 防災トピックス

交換しましょう！住宅用火災警報器【消防局からのお知らせ】

～本体交換の目安は約10年～
いざという時のために日頃から点検し、異常があるものは、新しいものと交換しましょう。

横浜市 住宅用火災警報器



お問合せ

【横浜市避難ナビ】、【条例改正】について
【住宅用火災警報器】について

横浜市総務局地域防災課
横浜市消防局予防課

電話：045-671-3456 FAX：045-641-1677
電話：045-334-6406 FAX：045-334-6610